

外部評価委員意見書

●評価対象課題名

①（県北）畜産新規就農者の定着に向けた取り組み

●普及指導活動に対する意見

高く評価される点	<ul style="list-style-type: none">・ 畜産の新規就農は費用面でハードルが高いといった課題を大きく3つに整理し、それをクリアするための対策（事例集の作成・ランチミーティングなど）を具体的に講じている。就農がゴールではなく、定着のための支援を継続して行い、成果に繋げている。・ 就農希望者が就農を目指す際の手引書等を作成するだけでなく、他地域や他団体と共有し、新規就農希望者への相談指導に活用されている。・ お互いに意見交換ができるランチミーティングの開催は良かった。色々な人の話が聞けることは営農をしていくうえでためになり、仲間づくりにも繋がる。・ 経営講習会では、アンケートの実施により経営継続に繋がっていることも評価される。手引書・事例集の作成も素晴らしい。・ 地域一体で効果的な新規就農支援体制が構築されているところを高く評価。・ 新規就農者へのアドバイス等において、生産者目線で取り組まれていることなどは大切。
今後改善すべき点	<ul style="list-style-type: none">・ TSMCの県内進出による農地減少の影響を受けている生産者もいる。今後は、そうした地域課題にもぜひ取り組んで欲しい。・ 新規就農者の経営の安定と定着化に向け、引き続き、取り組んで欲しい。・ 世界情勢が変化する中、TSMC 進出により農地売買の問題など色々な問題が発生しており、農業は厳しい状況にある。そうしたことへの対応も必要。・ 新規就農者のみでなく広く農業の良さをアピールしても良いのではないか。・ 育成の核となる技術面での支援が今後も必要。目標を定めて指導することも必要ではないか。
その他	

外部評価委員意見書

●評価対象課題名

②（鹿本）アスパラガスの元気な産地づくり～若手生産者の収量アップに向けた支援～

●普及指導活動に対する意見

高く評価される点	<ul style="list-style-type: none">・ ステップ0からステップ3まで段階を踏みながら、的確な指導・管理で生産者がきちんと収益を上げられるよう支援をしていた。それによって、新規就農者の増加という成果に繋がっている。みどり戦略に触れている点も良かった。・ 体験バスツアーは就農を考えている人が参加しやすい企画で面白い取り組みだと感じた。・ pFメータによる土壌水分の数値化への取り組みにより収量増に結び付けられていること。・ 後継者育成が課題と考え、JA や篤農家と連携した技術体制の構築とスムーズな営農開始に向けた技術指導を行った点を評価。・ 土壌の排水性が悪い場合は、別ほ場の提案や将来の地域のリーダーとなる生産者の育成に繋がっていることは素晴らしい。・ ベテランと若手の交流が図られた点が素晴らしい。技術データ共有やSNS活用などは大切。・ 情報発信・技術等の共有が地域を超えて進んでいる点や支援プログラムの強化が徐々に地域や新規就農者に浸透している点が良い。
今後改善すべき点	<ul style="list-style-type: none">・ 産地全体としてpFメータを利用したかん水管理に取り組んで欲しい。・ アスパラガス産地のPR・広報活動と併せて、体験バスツアーなど色々な行事に積極的に取り組んで欲しい。・ 高齢化農家の生産力低下に対する取組みを進めて欲しい。部会全体の生産力を上げるための指導等に力を入れて欲しい。
その他	<ul style="list-style-type: none">・ 就農者とほ場のマッチングは是非、頑張って貰いたい。

外部評価委員意見書

●評価対象課題名

③（県南）和の“伝統”を支えるいぐさ産地を“X”せよ～世界に二人だけの普及指導員の挑戦～

●普及指導活動に対する意見

高く評価される点	<ul style="list-style-type: none">発表のテーマ「和の“伝統”を支えるいぐさ産地を“X”せよ」がキャッチー。プレゼンや資料も聞く人を引き付けるような内容だった。い草は後継者不足・技術継承といった面で、将来、高品質な畳表を生産できなくなるかもしれないという危機感を強く感じた。デジタル技術の活用、YouTubeなどSNSを駆使して情報発信し、産地を守ることに2人で奔走しているのが印象的だった。乾燥状態の見える化の取組みや作業動画による熟練農家の技術継承の取組みは、後継者や若手生産者の育成に有効だと思う。直接的な技術指導だけでなく、稼げる農業の実現と産地の活性化に取り組んでいる点は素晴らしいが、特に、色々な対策を考えて実践していることや高度な技術の活用はとても素晴らしい。生産・流通・消費対策をよく研究されており、具体的な指導が行われ、産地活性化に繋がっている。いぐさの栽培技術だけでなく、PRに至るまで網羅的に取組まれている。
今後改善すべき点	<ul style="list-style-type: none">スマート農業やデジタル技術等を苦手としている生産者のフォローを行って欲しい。住居の洋風化によりいぐさ需要が低下している中、消費拡大に向けて加工も含めた色々な取組みが必要だと思う。歴史や伝統ある産地の支援は大変なことだと思うが、消費PR等は今後も継続するとともに、データの活用・共有を積極的に進めて欲しい。
その他	<ul style="list-style-type: none">いつでもどこでも学べる環境の構築をお願いしたい。

外部評価委員意見書

●評価対象課題名

④（芦北）魅力ある地域資源を活用した中山間地域活性化の取組支援～酒米を新たな特産物へ～

●普及指導活動に対する意見

高く評価される点	<ul style="list-style-type: none">山田錦の倒伏の原因を分析し、条件の良いほ場への転換を図るなどした結果、収量アップ、所得向上に繋がった。亀萬酒造は、国内最南端の酒造元。付加価値の高い商品開発とブランド化で芦北地域の活性化に繋がって欲しい。他産業と協力して、新たな担い手の確保や耕作放棄地の解消に向けた取組みを評価。栽培ほ場での実証による収量増と実証結果の共有への取組みも良い。中山間地では高齢化が進み、鳥獣被害で耕作されていない田もある。高単価作物として期待される山田錦の生産に取り組んだことは素晴らしい。適切な肥培管理や水管理により所得向上に繋がったことは素晴らしい。地域のことを良く理解したうえで、酒米を新たな特産物として捉えた取組みは評価できる。中山間地の問題をうまく逆手に取った取組みが行われ、地域活性化に繋がっている。テロワールということばを初めて聞いた。地域の皆さん連携した取組みを今後も期待する。
今後改善すべき点	<ul style="list-style-type: none">新規生産者の定着化に向けた取組みを進めて貰いたい。作業分散等大変な事だと思うが、大切なことなので重点的に取組んで欲しい。
その他	

外部評価委員意見書

●評価対象課題名

(球磨) 豪雨災害からの復興の起爆剤に！～球磨村初の農事組合法人の設立及び運営支援～

●普及指導活動に対する意見

高く評価される点	<ul style="list-style-type: none">熊本豪雨の被災地の中でも、球磨村の被害は甚大だった。その中で法人を設立し、地元の意向を元に効率的な支援をしていた。「復興の起爆剤になりたい」という生産者の思いをしっかりと汲み取り、補助事業などを活用しながら課題解決を図っている。「球米」の取組みを広く知って貰い、消費者が購入することで、復興応援に繋がればと思う。短期間で農事組合法法人を設立したことに加え、設立初年度から、乾燥・調製施設の運営を開始したことを評価。耕作放棄地の増加、農地の荒廃化、人口流出に歯止めがきかない中、若手兼業農家が法人の設立を希望されていることに対し、法人運営が適切に行えるよう支援したことは良かった。法人化は補助金を得ることが主な目的となっているが、米の販路拡大など中身のある改革に取り組んでいる点は素晴らしい。災害からの復興は地域が一つまとまらなければ成しえない。法人化の目標が明確に定まっていることは評価できる。。米の販路開拓は大変ではあるが、ふるさと納税や外食向けなど幅広く動きが起きている
今後改善すべき点	<ul style="list-style-type: none">「球米」の有利販売のために、引き続き課題解決に向けて取り組んで欲しい。法人の経営は決して安定しているとは言えないので、今後は法人経営の安定化が大切。技術面での更なる支援に取り組んで欲しい。
その他	